



39号 令和5年8月21日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



「みえない力」に働いていただけるように

保護者の皆様や阿賀っ子のみなさんはこのお盆をどう過ごされたでしょうか？

私のほうは、ご多分に漏れず、墓前や仏前に手を合わさせていただいたりしました。この歳になりますと、先立たれる方々が増え、自然と普段から手を合わせたい気持ちになることが増えてまいりました。

そんな折、本屋さんで目に留まった本を紹介いたします。「亡くなった人があなたに知ってほしい40の真実」という本です。非常に靈感の強い筆者がいわゆる「あの世」の様子や「あの世」からの故人のメッセージをまとめたものです。非科学的と言われればそれまでです。

しかし、この中で私の心に強く響いた一節がありますので、それを是非紹介させていただきたいと思います。

『ちゃんとした生き方をしている人は、その人自身のエネルギーバランスが整い、さらに「みえない力」が働いて、ここぞというとき運を味方につけることができます。私たちは、与えられた日々と向き合って、精一杯生きることで、「みえない力」に守られながら、人生を送ることができているのです。』というところです。

また、「みえない力」というのは、ご先祖様やまわりのすべてものに感謝する気持ちや振舞いがあればあるほど働く力だということです。

「お天道様は見ている」とか「罰が当たる」とか、心が緩みかけたときの戒めの言葉はいろいろあります。人の心は弱く流されやすいということだと思います。そのことを改めて自覚しつつ、「みえない力」に働いていただけるよう、自分に対してはもちろん、職員や子どもたちにも言葉かけ・働きかけを続けてまいりたいと思います。